

# 令和三年度定時評議員会（書面）及び 第二回理事会開催

## 兵庫県消防協会会長退任と就任～感謝そして新たな幕開け～ 公益財団法人兵庫県消防協会

# 兵庫消防

発行所  
公益財団法人兵庫県消防協会  
神戸市中央区下山手通4丁目16番3号  
編集発行人 岸野 雅信

事故ゼロへ  
トライ重ねる  
ワンチーム

この度、新型コロナウイルス感染症の影響により書面開催ではありましたが、当協会の評議員会が五月二四日に決議され、理事、監事、評議員の改選が完了いたしました。それに伴い、平成二二年三



岸野会長より岸谷名誉会長へ感謝状の贈呈

月より一年の長きにわたり当協会の会長を務めていただいた岸谷義雄氏が、兵庫県消防協会会長を退任されました。

岸谷氏は、県消防協会長のみならず、日本消防協会副会長や内閣府の中央防災会議委員、総務省消防庁の消防審議会委員など数々の要職を歴任され、兵庫の消防団として全国の消防団のため、ご尽力してくださいました。いつも毅然とした態度で協会業務に取り組まれる反面、常に周りへの気遣いを忘れない、優しいお人柄で、県内外問わず関係各所から厚い信頼を寄せられ、長きに渡り消防防災を牽引してこられました。本当にありがとうございました。

評議員会決議後の六月六日には、ホテル北野プラザ六甲荘において、第二回理事会が参集開催されました。議事の結果、代表理事（会長）には岸野雅信氏が選任され、当協会は新たな幕開けを迎えました。

また、同会議において会長を退任された岸谷義雄氏が当協会の名誉会長に選任されるとともに、日本消防協会名誉会員への推薦が決定し、令和



三年七月一五日付の日本消防協会臨時理事会（書面）において選任されました。

当協会会長に就任された岸野会長を筆頭に、新たな幕開けを迎えた兵庫県消防協会を、皆さま引き続き、よろしくお願いたします。

第二回理事会において選任された当協会役員については次のとおりです。

- 会長 岸野 雅信
- 副会長 採田 芳博
- 副会長 安満 真哉

- 副会長 安達 哲哉
- 副会長 坂本 信嘉
- 副会長 中西 君一
- 副会長 吉田 清光
- 副会長 西岡 安雄
- 副会長 田畑 幸生
- 副会長 曾谷 哲也
- 常務理事 北田 輝彦

なお、令和三年八月一八日（水）、伊丹市消防局にて兵庫県消防協会会長退任感謝状贈呈式が執り行われ、岸野会長より岸谷名誉会長へ、感謝状と記念品の贈呈が行われました。



岸野会長と岸谷名誉会長



退任あいさつ



名誉会長  
岸谷 義雄

このたび、五月二十四日の任期満了により会長を退任させていただきます。

平成二二年三月に会長に就任してから一年にわたり、県下の消防団員・消防職員の皆様をはじめとする多くの皆様方にいただきましたご理解とご協力で心から感謝と御礼を申し上げます。

在任中を顧みますと、平成二三年三月一日に発生した東日本大震災では広範囲にわたり甚大な被害が発生し、活動中の消防団員・消防職員も

就任あいさつ



第六代兵庫県消防協会会長  
岸野 雅信

平素は、本協会の運営に深いご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。また、県下の消防団員・消防職員の皆様には、昼夜を分かたず消防防災活動にご尽力いただいておりますことに、深い敬意と感謝の誠を捧げます。

多数犠牲となりました。

また、平成二八年四月には熊本地震が発生するなど、毎年のように甚大な被害をもたらす災害や集中豪雨、スーパ

ー台風など多種多様な自然災害が発生しております。

兵庫県においても平成三〇年の七月豪雨では、県内各地で床上浸水、土砂崩れが発生し、一五市町に災害救助法が適用されるなど、改めて自然災害の恐ろしさを痛感しました。

加えて令和二年には、新型コロナウイルス感染症により、新型コロナウイルス特別措置法に基づく緊急事態宣言が出されるなど、日本中が今まで経験したことのない異常事態を巻き起こしています。

消防協会も新型コロナウイルス感染症拡大の影響で年間行事が中止となり、何もできなかったことが悔やまれ残念な思いが残ります。

一方、兵庫県消防協会も平成二五年に公益財団法人として新たにスタートし、消防団員応援事業所登録事業や県下女性団員活性化大会など一定の成果を収めることができましたことに深く感謝申し上げます。

これからの新会長のもと、県下消防団員が全国一の消防団員数を誇る「兵庫消防」の誇りを胸に、より一層強い団結と使命感を持って地域住民の暮らしを守るためご尽力いただきますようお願いいたします。

また、このたび名誉会長に推挙していただきました。これからは、消防協会のさらなる発展を側面からご支援してまいりたいと存じております。

最後に、今後も県下消防団の更なるご発展と、会員各位のますますのご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。退任にあたってのご挨拶といたします。

さて、このたび兵庫県消防協会長第六代会長に就任いたしました。もとより微力ではございますが、歴代会長が営々として築いてこられた消防協会の良き伝統を踏まえ、消防協会はもとより県下各消防団発展のため誠心誠意その職責を全うする所存でございますのでどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

未だ終息の目処が立たず、世界を脅かしている新型コロナウイルス感染症は、我々の生活にも大きな影響を及ぼし、消防団活動におかれましても、様々な活動を中止せざるをえなくなるなど、未曾有のウイルスに苦しみ悩まれたことでしょうか。

我々消防団は、「地域のことは地域で守る」との気概を持ち、常に地域防災の中核として、地域の安全確保に重要な役割を果たしており、このような災禍をはじめ、災害が複雑多様化する中で、私たち消防団に対する住民の期待は従来にも増して大きくなっております。

一方で、消防団員の被雇用者化、団員数の減少や高齢化など消防団を取り巻く環境は厳しさを増しており、時代に即した消防団づくりへの取り組みが大きな課題となっております。

兵庫県消防協会では、こうしたうねりに対応するために消防団活動への県民の関心を

令和三年兵庫県功労者表彰式挙行

令和三年七月一日(水)、兵庫県公館において、令和三年兵庫県功労者表彰式が挙行されました。

表彰は、二二の功労分野にわたり、二二八名の方が受賞されました。

そのうち、消防功労では消防関係者六名が受賞され、消防功労の受章者を代表し、宍粟市消防団の安原団長に井戸知事から表彰状が贈呈されました。

なお、受章者の方々は次のとおりです。(敬称略)

- 消防功労
- 高砂市消防団 団長 伊藤 定雄
- 香美町消防団 団長 今後 武司
- 前丹波市消防団 団長 荻野 克己
- 豊岡市日高消防団 団長 成田 安浩
- 宍粟市消防団 団長 安原 勝則
- 前神戸市消防局 消防司監 長岡 賢二

高める事業や消防団員の士気高揚のための事業に積極的に取り組んでおり、今後とも消防団の活性化に一層努めてまいりますので、引き続きご協力をお願い申し上げます。

最後に、県下各消防団のご発展と、会員各位のますますのご健勝をお祈り申し上げます。して会長の就任にあたってのご挨拶といたします。



兵庫県功労者表彰式の様子

# 令和三年 春の叙勲 春の褒章

令和三年四月二十九日に発令

## 〈春の叙勲〉

令和三年春の叙勲が四月二十九日に発令されました。叙勲の受章者（消防関係）は、全国で六一四名、うち兵庫県では、元消防吏員・元消防団員併せて一三名が叙勲の栄に浴されました。

受章された方々は、永年にわたり国民の生命、身体及び財産を火災等の災害から防衛するとともに、幾多の災害に對して、率先して敢然と立ち向かわれ、地域の安全・安心の確保に尽力されました。また、消防力の強化、充実に努めるとともに、消防の発展に貢献し、社会公共の福祉の増進に寄与されたこと等、これまでに抜群の功績により、その榮譽に輝かれました。

今回の叙勲の伝達式は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止となりました。

なお、全国の消防関係受章者数、勲章別内訳及び本県の受章者は次のとおりです。  
(敬称略)

### 〈全国消防関係受章者数〉

瑞宝小綬章	三九名
旭日双光章	五名
瑞宝双光章	八〇名
瑞宝単光章	四九〇名
計	六一四名

### 兵庫県下受章者(消防功労)

◎瑞宝双光章  
元豊岡市但東消防団 均 桑田

### ◎瑞宝単光章

元宝塚市消防団 池奥 保夫  
分団長  
元芦屋市消防団  
分団長 石原 勝実  
元姫路市姫路東消防団 岩本 秀樹  
分団長  
元朝来市消防団 大本 勇  
副団長

元川西市消防団 分団長 岡崎 康夫  
元尼崎市消防団 副団長 島中 護  
元淡路市消防団 団長 高橋 宏  
元加古川市消防団 分団長 長谷川敏昭  
元豊岡市豊岡消防団 副団長 細田 優  
元西宮市消防団 分団長 前田 豊  
元小野市消防団 分団長 松原 剛  
元西宮市消防団 分団長 山下 和男

## 〈春の褒章〉

消防団員として、永年にわたり消防防災活動に献身的に努力し、消防の発展に大きく貢献した方へ授与される藍綬褒章に神戸市北消防団の採田芳博団長が受章の榮譽に輝きました。

今回の褒章の伝達式は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止となりました。

なお、全国の消防関係受章者数、褒章別内訳及び本県の受章者は次のとおりです。  
(敬称略)

### 〈全国消防関係受章者数〉

紅綬褒章	四名
黄綬褒章	八名
藍綬褒章	九六名
計	一〇八名

### 兵庫県下受章者(消防功績)

◎藍綬褒章  
神戸市北消防団 採田 芳博  
団長

# 令和三年度 安全功労者 総務大臣表彰

安全功労者総務大臣表彰は、「安全思想の普及徹底又は安全水準の向上のため、各種安全運動、安全のための研究、もしくは教育又は災害の発生防止もしくは被害の軽減に尽力し、又は貢献した方々の士気高揚を図る」という目的で、消防職団員以外の個人・団体を受賞対象とし、行っている表彰です。

この度、授賞式については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止となりました。

なお、全国の受賞者は次のとおりです。  
(敬称略)

### 〈全国受賞者数〉

安全功労者表彰(個人) 三四名  
(団体) 一〇団体

### 兵庫県下受賞者

◎安全功労者表彰  
個人の部  
三田市防火安全協会 川邊 元  
会長  
団体の部  
岩谷瓦斯株式会社 近畿事業部尼崎工場

# 第三六回危険業務従事者叙勲が 令和三年四月二十九日に発令

## 一二三名の兵庫県下 消防職員の皆様が

## 消防功労関係で受章

叙勲の栄に浴された方々は、消防職員として国民の生命、身体及び財産を火災等の災害から防衛するため、永年にわたり著しく危険性の高い業務に精励するとともに消防力の強化、充実に尽力され、消防の発展に貢献し、社会公共の福祉の増進に寄与されました。今回の叙勲の伝達式は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止となりました。

なお、全国の消防関係受章者数、勲章別内訳及び本県の受章者は次のとおりです。  
(敬称略)

### 〈全国消防関係受章者数〉

瑞宝双光章	三一四名
瑞宝単光章	三一七名
計	六三一名

### 兵庫県下受章者(消防功労)

◎瑞宝双光章  
元神戸市消防局 青木 啓司  
消防正監  
元豊岡市消防本部 伊藤 忠明  
消防司令長  
元姫路市消防局 岡村 卓治  
消防監  
元西宮市消防局 谷保 和成  
消防監  
元北はりま消防本部 徳岡 恒夫  
消防監  
元篠山市消防本部 消防司令長 畑 光明

元川西市消防本部 消防司令長 福田 保  
元加古川市消防本部 消防監 三柳 光彰

◎瑞宝単光章  
元南但消防本部 消防司令 池野 浩二  
元加古川市消防本部 消防司令長 賀前 高弘  
元西はりま消防本部 消防司令長 木南 敏之  
元神戸市消防局 消防監 榑橋 克治  
元三木市消防本部 消防司令 小島 裕一  
元尼崎市消防局 消防司令 小林 廣  
元美方広域消防本部 消防司令 田中 正  
元西宮市消防局 消防司令長 中山 一人  
元三田市消防本部 消防司令 福田 一郎  
元神戸市消防局 消防監 外西 勝

元中播消防事務組合 消防司令長 細岡克比呂  
元神戸市消防局 消防司令長 前 益幸  
元尼崎市消防局 消防司令 宮原 昭雄  
元小野市消防本部 消防司令 横田 幹男







# 令和三年度兵庫県女性消防団員技術研修会

## 公益財団法人兵庫県消防協会

令和三年七月四日(日)、兵庫県広域防災センターにおいて、約二年ぶりに女性消防団員技術研修会を募集開催することができました。

この度の研修会は、兵庫県救急救命士養成所の教官方にご協力いただき「新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえた救急蘇生法について」の講義と実技を実施していただき

ました。講義では、救急蘇生法だけではなく、感染症についてや手洗い、マスク装着、消毒など、日常生活で実践できる内容を教壇くださり、受講された皆さんからは「所属消防団で団員へ伝えたい」「当

り前のことでも気づかなかったこと、知らなかったことを学べた」とのお声をいただきました。さらに実技では、教官から新型コロナウイルス感染症の影響による救急蘇生法の変更点に加え、CPRスコアリン

グアルゴリズムで、胸骨圧迫が適切に行えているかの測定を実施していただきました。また、救急蘇生法について初めて学ばれる女性消防団員の方々には、別途丁寧に指導していただき、短い時間ではありましたが、終始和やかな雰囲気です。ありがとうございました。

県消防協会としましては、

最後になりましたが、お忙

以上一〇消防団(参加者二八名) ※各市町引率職員含む

引き続き可能な限り募集していただき、研修会を実施したいと考えております。本研修会は、県内の女性消防団員の皆様が一堂に集まっていたただける唯一の機会です。「技術の習得」だけではなく、「交流」を図っていただき、横の繋がりを強めることが、県内の地域防災力強化にもつながると考えております。

本研修会へご参加くださった消防団は以下のとおり。  
・神戸市長田消防団  
・尼崎市消防団  
・芦屋市消防団  
・伊丹市消防団  
・三木市消防団  
・川西市消防団  
・小野市消防団  
・丹波篠山市消防団  
・淡路市消防団  
・猪名川町消防団



まず最初に前後の方と自己紹介タイム



CPRスコアリングアルゴリズムで胸骨圧迫を確認



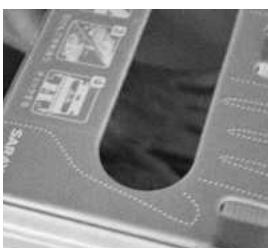
実技の様子



北田事務局長よりご挨拶



教官による講義



手洗いチェッカーできちんと手洗いができているかのチェック







『安心・安全・東灘!』

神戸市東灘消防団

神戸市東灘区は、神戸市の東端に位置し、都心までのアクセスの良さと、海と山に囲まれた自然あふれる環境が好まれ、古くから近畿有数の住宅地として発展してきました。東灘消防団は、西は灘区、東は芦屋市、北には六甲山、南には六甲アイランドに囲まれた地域を所管区域としており、本庄深江・本庄青木・本山東・本山西・魚崎・住吉第一・住吉第二・御影東・御影西・六甲アイランドの一〇分団と本団で構成されています。消防団員は女性団員も含めた一三四名(令和三年七月一日現在)が所属、市街地でありながら積載車七台、ポンプ車二台と搬送車一台、合わせて一〇台を配置して、東灘区全域の防災活動を担っています。海側には工場や港湾施設があり、大規模な火災には十分注意が必要な地域です。



防潮堤閉鎖訓練

また、その他の地域は、住宅地域が多いことから、住民

には年末特別警戒、市民放水大会、東灘消防団出初式や文化財防火デーでの消火訓練など、年間を通じて多くの取り組みを行っています。しかし、昨年度から続く新型コロナウイルスの影響で消防団活動が自粛や中止・縮小がされており、例年のような活動ができない中ではあります。密を避けるなど各分団単位で感染防止に工夫を凝らしながら、ポンプ取扱訓練、放水訓練や資機材の点検等を



東灘消防団出初式

の防火意識の向上も求められています。そのため、各分団とも地域における防災活動に力を注いでおります。例年、定期的に地域住民との防火防災訓練を行っているほか、春先には、六甲山での山林火災の防火パトロール、新入団員に対しての基礎教育訓練や高潮時に閉鎖する防潮堤閉鎖訓練、夏には全団員参加での夏期特別訓練の開催、秋には小型ポンプ操法大会や救急フェアへの参加協力、冬

『消防団は地域防災力の担い手』

稲美町消防団

稲美町は、播州平野東部の東播磨地域に位置し、東は神戸市、南は明石市、西は加古川市、北は三木市と四市に隣接しています。総面積は三

現在)に対し団員は八〇五人(二・六%)です。

稲美町消防団は昭和五十一年に三消防団を統廃合し、四三分団一、三八九名で発足しました。昭和五十七年から消防事務を加古川市に委託していましたが、今でも「自分たちの町は自分たちの手で守る」という意識が強く、消防団の活動がとて活発です。その後、機構改革等をはかり、現在六分団四三部制(定数八六三)を敷いています。

消防団の活性化をはかるためには、新入団員の確保は欠かせません。密接な地域活動を通じて団員になるというハードルを下げ、地域に溶け込み、住民に信頼される消防団の組織づくりを目指しています。



兵庫県下最大の加古大池

【稲美町消防団の主な活動】  
○操法大会  
稲美町では、県大会等の上位大会が実施されない年度においても、機械器具の基本的操作の習得に向けた消防操法技術の向上と団員の士気高揚をはかるため、毎年四月に町内の小学校のグラウンドで操法大会を実施しています。合同チームを含め三〇チームが上位入賞に向けて休日、昼夜問わず日々練習に励んでいます。



東灘消防団基礎教育研修

感染防止に留意し定期的に実施しています。今後も、地域に根ざした活動を通じ「安心・安全・東灘!」に向け積極的に活動を行ってまいります。  
(※コロナ禍のため掲載写真はいずれも昨年や一昨年のものです。)

○水防訓練  
全国有数のため池密集地域となっており、消防団は水防活動にもとりわけ熱心に取り組んでおり、出水期、台風シーズンを前に加古大池

(県下最大のため池)でため池決壊を想定した積み土のう訓練を実施しています。台風などの風水害に備えた各部配備用の土のうづくりも兼ねる大切な訓練のひとつです。



水防訓練 (加古大池での土嚢づくり)

まる町最大のイベントでは防火・水難対策などの警備は欠かせません。校区単位や集落単位で開催されるイベントの警備も消防団が担い、住民と顔の見える関係を築いています。

○分団毎訓練  
七月九月には六分団がそれぞれの課題をテーマに器具操作、ホース連結、無線伝達など分団長指揮のもと訓練を行います。最近では、加古川市消防本部の救急隊員を講師に迎え、救急救命講習を実施するなど訓練活動の幅を広げています。

○警備  
いなみ大池まつり(花火大会)の警備を消防団が行います。多数の人が加古大池に集



稲美町総合防災訓練で指導する消防団員

○月に加古大池を会場とした稲美町総合防災訓練が行われています。自治会をはじめ消防署や警察、自衛隊などの防災関係機関に加えて消防団も参加します。初期消火及びパケツリレー訓練や積み土のう訓練では、消防団幹部が参加者に指導を行い、地域住民との連携を深めています。

われら 若手消防団員

市役所職員、消防団員として



たつの市消防団 団員 丸尾 剛

私は、平成二三年度にたつの市役所に入庁し、現在教育委員会事務局

私も、平成二三年度にたつの市役所に入庁し、現在教育委員会事務局... (text continues in the main body)

かもしれませんが、若手団員の確保・育成が課題になっていると感じてきたため、若手団員が増えること... (text continues in the main body)



私が入団したのは令和二年一月で、新型コロナウイルス感染症の影響もあり活動できたのは年末特別警戒だけで、実際の火災現場等への出動の経験はありませんが、分団の先輩方に指導をしていただきながら訓練と経験を重ね、いつ発生するか分からない火災や自然災害に迅速に対応し、地域住民の安心・安全を確保できるよう努めてまいります。



# わが町の団長さん

## 「団員の安全を 第一に！」

丹波篠山市消防団

田畑 幸生



丹波篠山市は兵庫県の中央部に位置し、古くから京都と山陰、山陽間の交通の要衝として栄えてきました。篠山城跡を中心に、市内各地に数多くの文化遺産が存在しており、田園地帯と調和した穏やかな風土を特色としています。また、今年の二月に黒大豆を栽培する地域として、丹波篠山が日本農業遺産に認定、継承されてきた伝統的な農業が脚光を浴びています。

丹波篠山市消防団は一回二分団、団員数一、一九二人で構成されており、その先頭に立ち指揮を執るのが田畑幸生団長です。

笑顔の絶えない朗らかな団長は、今年の春に就任されました。副団長時代にはこんなエピソードがあります。山林に囲まれた建物火災現場で、金属屋根が被さった状態で残った箇所の残火処理が進まず苦慮しているなか、消防本部が手配した重機の操作を自ら行い、金属屋根等の撤去をし、早期鎮火に尽力されました。その姿を見て、長年建設会社に勤めておられる経験を遺憾なく発揮された瞬間だったと全団員が賞賛したことを覚えていきます。

消防団組織を取り巻く環境は、少子高齢化や就業形態等の変化で年々厳しくなっていますが「活動は、怪我なく、事故なく安全に！」をスローガンに、「団員の安全を第一に考え、一丸となって精進していきたい」と意気込みを語られています。

支団二九分団九二部の定数一七〇六名(女性分団含む)で活動しています。

西垣団長は、平成二年に入団して平成一八年度から分団長、平成二五年度から副団長を務められ、令和三年四月一日に丹波市消防団団長に就任されました。

## 「地域の安心と安全を目指して」

丹波市消防団

西垣 毅



丹波市は、兵庫県の中央東部に位置し、美しい自然と懐かしい田園風景が広がる緑豊かな地域の中に様々な地域資源を有しており、平成一六年一月に六つの個性豊かな特色をもつ町が合併して誕生しました。

市内の石生の「水分れ」は海拔九五メートルに位置し、本州一低い中央分水界となっています。気候は瀬戸内海型に属し、年間、昼夜間の寒暖差が激しく、秋から冬にかけて発生する丹波地域の山々をつつむ朝霧、夕霧は「丹波霧」と呼ばれ、豊かな自然環境に一層の深みと神秘さを醸し出します。

丹波市消防団は、一本部六

団長の趣味は海釣りです。休みになると海へ出かけて釣りを楽しまれており、釣った魚は自身でさばくほどの腕前で、食卓の一品として並ぶこともあるようです。

普段は温厚で優しい印象をもった団長ではありますが、いざ火災や水害などが発生したときには迅速に先頭に立ち陣頭指揮を執り、団員をまとめておられます。

消防団活動では、消防防災体制の充実に努め、市民の方が安心して暮らせるまちづくりのために活躍されることを期待します。

## 「奥播磨かかしの里の 団長さん」

姫路市安富町消防団

本長 直樹



吾輩は名もない年老いた案山子である。姫路市の北西部に位置する静かな山間地域のこのまちを長年見守ってきたこのまちのことならなんだっ

て知っている。今年の四月にこのまちの消防団長が代わった。

新しい団長は、なんとあの本長君じゃないか。吾輩はもちろん本長君を子供の時から知っている。いまで言うイケメンで、バイクに乗ってゴルフやキャンプを好み、ぱっと見はちよつとチャライ。

しかし吾輩は見ている。台風で暴風雨の中、村を孤

立させないために危険を顧みず道路を塞いだ倒木をチェーンソーで伐採した本長君を。茅葺屋根の家屋が大炎上した時、自らの火傷もいとわず決死の消火活動をしていた本長君を。

そっと見ていると、本長君は若い人から年寄りまで世代や地域を問わず人と触れ合うことが大好きで、何事にも誠実に取り組む、団長に相応し

い実にはいい奴だ。そんな本長君が、姫路市長から団長就任の辞令を貰った日に吾輩にこんな誓いを立ててくれた。

「安富町消防団長としてまだまだ若輩ですが、『今日が人生で一番若い日』を座右の銘とし、地域の皆様から信頼され頼りにされる消防団組織を作っていきます。どうかこれからもかわらず見守って

## 『歴史ある町を火災から守るため』

豊岡市出石消防団 女性消防団

豊岡市出石町は、但馬の小京都と呼ばれる観光地で、その古風な町並みは重要伝統的建造物群保存地区にも選定されています。

平成五年に結成された女性消防団は、現在は三名という少ない人数ですが、今日に至るまで活動を続けています。

女性消防団の活動は火災の予防に焦点を当てており、火災予防のアナウンスをしながら出石町全域を定期的に巡回しています。それだけでなく、式典の補助、救急救命講習会や各種訓練大会、技術研修会などに参加することで、技術の習得、防災意識向上等に努めています。

また、平成三〇年六月より新たな取り組みとして、I C C (出石消防団現場指揮隊) が始動し、火災発生時には可能な限り出動し、男性隊員とともに消火活動の支援を行っています。

ここでの私たちの主な役割は、災害状況及び住人の避難状況を把握すること、交通整理等を行いながら周辺住民の安全を確保することになります。住民の方が

混乱されている場合などにおいて、女性ならではのソフトさを活かしながら、事態の安全な収束につながることを期待されています。

これからも地域住民の安心・安全を守るため、活動を続けてまいります。



出初式を終えて



救命講習の補助もやっています

「本長君なら安心だ、静かだ、緑が美しい故郷安富町の安心・安全を任せても。吾輩はこれからも見てるぞ。雨の日も風の日も雪の日も夏の暑い日も、安富町のために頑張っている本長君を。」

年老いた案山子より

## 編集後記

厳しい暑さが続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今月号では、当協会会長の就任と退任についての記事を一面に掲載しております。岸谷名誉会長、長きにわたる協会長を務めていただき、ありがとうございます。そして新たに協会長に就任された岸野会長、どうぞよろしくお願いいたします。

また二、三面には、春の叙勲をはじめ各種表彰を受章された方々を掲載しております。受章された皆様おめでとうございます。

最後に、今月号も紙面作成にあたり、各地区から多数の寄稿をいただき、ご協力いただきました。誠にありがとうございます。

熱中症をはじめ、大雨・台風など、何かと気がかりな季節となりましたが、災害への備え・体調管理にはお気を付けてください。